

## IB 教育フォーラム 日本の学校への IB 教育の導入—現状と課題—

日時：2016 年 2 月 28 日

会場：筑波大学 東京キャンパス文京校舎

主催：筑波大学大学院教育研究科

参加者：学生，教員，研究者等，IB 教育に関心のある者、岡山大学からは、桑原敏典（教育学研究科）、田原誠と森岡明美が参加

### 内容

筑波大学は、国際バカロレア（IB）教員養成のための大学院教育コースを 2017 年度に開設することとしている。その準備の一環として、日本の学校が直面する IB 導入に向けての課題について検討するワークショップが開催された。ワークショップは講演と IB コース開設に向けた課題や経験を共有するワークショップが行われた。

### 講演プログラム

講演 1 大迫弘和氏（リンデンホールスクール中高学部校長／都留文科大学特任教授）

国内の IB 校の設立と教育に長年取り組まれ、現在は、都留文科大学で IB 教員養成のための大学院教育コース準備を進められている大迫氏から、IB 教育の必要性、IB 校設立や今後の IB 教育普及にあたっての考え方などについての講演があった。

講演 2 ジェーン・テイラー氏（名古屋国際学園教諭）

カナダ・アルバータ州の公立高校が IB コースを導入した際の担当者であり、現在、名古屋国際学園（IB 校）の教諭であるテイラー氏から、公立高校に IB コースを導入した際の体験、公立高校の教育コースと IB のコースを並列して運営する方法などについて講演があった。

### ワークショップ

参加者が教育、研究、管理の 3 グループに分かれて、日本の初等・中等教育に IB 教育コース導入する際に遭遇する課題などについて、経験者のガイドにより議論を行った。管理のグループには、神奈川県、埼玉県などの県庁の教育担当者が参加しており、県立高校での IB コース設立に向けての具体的な議論が交わされた。